

【別紙様式】

木更津市は、新型コロナウイルス感染症への対応として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、制度要綱に定める交付対象事業の要件「新型コロナウイルスの感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援を通じた地方創生に資する事業」に該当する以下の事業を実施します。

事業名	ワーケーション環境整備事業		
総事業費 (千円)	58,000千円	交付金関連事業費 (交付対象経費) (千円)	58,000千円
事業概要	<p>①目的 新型コロナウイルス感染症の影響により、新しい旅のスタイルとして注目を集めているワーケーションへの需要の高まりを踏まえ、トレーラーハウス型宿泊施設を設置し、本市におけるワーケーションの受入拠点の整備を図る。</p> <p>②交付金を充当する経費・算定根拠  <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊用トレーラーハウス（ウッドデッキ付属）設置費 12,000,000円×3台=36,000,000円</li> <li>・受付・ビジターセンター用トレーラーハウス設置費 10,800,000円×1台=10,800,000円</li> <li>・トレーラーハウス廻り設備工事（給排水設備、浄化槽、ガス、電気、トレーラーハウス支持設備）5,876,000円</li> <li>・給水取出し及び分水止め工事（トレーラーハウス対応の水道管入替工事） 4,290,000円</li> <li>・水道加入負担金 1,034,000円</li> </ul> </p> <p>③交付対象            1) 交付対象者 一般社団法人木更津観光協会</p> <p>2) 交付対象者の選定理由・選定方法 一般社団法人木更津観光協会が運営している観光地域づくり法人「木更津DMO」が、金田見立海岸にウィズコロナ・ポストコロナに対応したツアー商品を開発しており、ワーケーション拠点施設と一体的に整備することで、魅力的なワーケーション環境を提供できることから補助金を交付する。</p> <p>④期待される効果 「木更津DMO」がシーカヤック体験や海越しに夕日が望める絶景キャンプ、干潟観察等の体験プログラムをワーケーションのメニューに盛り込むことが可能な金田見立海岸において、本市ワーケーションの拠点となる施設を整備することで、他にはない魅力的なワーケーション環境を提供できるとともに、これらの体験プログラムの一層の推進を図ることができる。</p>		
新型コロナウイルス感染症への対応（経済対策）との関係	<p>仕事と観光を一体化したワーケーションの受入環境を整備することにより、新たな人の流れの促進、交流人口や関係人口の創出にあたることからポストコロナ・ウィズコロナに向けた事業である。このことから、本事業は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けている地域経済の支援を通じた地方創生に資する事業に該当するものであり、地方創生臨時交付金を活用することが妥当である。</p>		